

作成年月日	令和 8 年 9 月 16 日
変更年月日	—
協議の実施年月日	令和 8 年 7 月 22 日
集約化構想の期間	令和 8 年 10 月 1 日～令和 19 年 3 月 31 日
市町村名	かほく市
地域名	箕打・元女・黒川・野寺・八野・瀬戸町・夏栗・中沼・二ツ屋・大田箕打元女入会・八野外九字入会・八野外参字入会・黒川瀬戸町夏栗入会 地域 (20・1005・1006・1007・1008・1009・1010・1011・1012・1022・1023・1024 林班)

1 一体経営管理森林の区域

整理番号	所在・地番	林班（林小班）	面積（ha）	備 考
区域 1	黒川・野寺・八野・八野外参字入会	1005 林班	67.26	区域内の公的森林 県 有 林：22ha 県 行 造 林：70ha 公 社 造 林：314ha 森林整備センター：54ha うち 森林経営計画作成済 県：92ha 公社：314ha
区域 2	黒川・八野・瀬戸町・夏栗	1006・1009 林班	83.41	
区域 3	箕打・元女・黒川・野寺	1010・1011 林班	158.07	
区域 4	箕打・元女・大田箕打元女入会・黒川瀬戸町夏栗入会	1012・1022 林班	150.47	
区域 5	野寺・中沼・二ツ屋・八野外参字入会・黒川瀬戸町夏栗入会	1008・1024 林班	199.99	
区域 6	大田箕打元女入会・黒川瀬戸町夏栗入会	1023・20 林班	118.10	
区域 7	八野外九字入会	1007 林班	71.01	
合 計		全 12 林班	848.31	

※備考には、森林経営計画作成済など、既に集約化されている箇所や面積等の記載を推奨

2 1に掲げる区域における経営管理の方針

整理番号	経営管理の方針
共通事項	主伐、造林、間伐及び保育、作業路網の整備等については、かほく市森林整備計画に定める方法を遵守して実施する。
区域 1	所有界が細かい区域であるが、経済林の割合が高いため、施業方法は皆伐再造林を主として検討し、資源の循環利用を目指す。また、集落や田畑などに近接していることから、獣害対策の一環としても森林整備をすすめ、環境改善を図る。
区域 2	同上
区域 3	同上
区域 4	環境林の割合が高いが、現地確認後に施工方法を検討し、経済林として利用できる森林は資源の有効利用を図る。なお、急傾斜地であっても資源量が見込まれる場所については、木材の搬出方法を車両系から架線系に変更する。 また、人工林ではない区域（広葉樹林や竹林、図面上の白地）についても、人工林と一体的に施業を計画することで、地域の森林整備を推進する。
区域 5	公的造林地の施業計画とあわせ民有林の施業計画を作成し、官民一体となった森林整備を推進する。

区域 6	同上
区域 7	同上

3 2に掲げる方針を踏まえた経営管理の集約化に関する目標

- (1) 経営管理実施権の設定その他の措置を講ずべき森林（構想森林）及び(2) 経営管理を行うべき適合事業者（構想適合事業者）

整理番号	所在・地番	林班（林小班）	面積（ha）	適合事業者 の 名 称	適合事業者 の 住 所
区域 1	黒川・野寺・八 野・八野外参字 入会	1005 林班	26	金沢森林組合	石川県金沢市 永安町 77 番地
区域 2	黒川・八野・瀬 戸町・夏栗	1006・1009 林班	36		
区域 3	箕打・元女・黒 川・野寺	1010・1011 林班	54		
区域 4	箕打・元女・大 田箕打元女入会 ・黒川瀬戸町夏 栗入会	1012・1022 林班	50		
区域 5	野寺・中沼・二 ツ屋・八野外参 字入会・黒川瀬 戸町夏栗入会	1008・1024 林班	16		
区域 6	大田箕打元女入 会・黒川瀬戸町 夏栗入会	1023・20 林班	24		
区域 7	八野外九字入会	1007 林班	21		
合 計			227		

4 3に掲げる目標を達成するために必要な作業路網の整備その他の措置の方針

- (1) 森林経営管理制度の活用方法

意向調査の資料を参考に森林所有者から施業の同意を得るものとし、未確認の箇所や自ら管理するとされた箇所についても再度意向を確認し、一体的な森林整備を目指す。

また、所有者不明森林が存在する場合は、関係機関と協議のうえ公的情報を活用して調査を行い、それでもなお所有者が判明しない場合は、特例措置による管理権の設定を行うなど、同意みなしの仕組みを活用して森林整備を推進する。

- (2) 路網整備の計画

森林ゾーニングにより示された経済林においては、既存の林道や林業専用道を基盤とし、地形および地質に応じた森林作業道を計画する。

対象エリアを一つの「面的まとまり（団地）」として捉え、施工種を問わず隣接する森林や公的造林地等を一体的に結ぶ路線を計画することで、移動時間の短縮と搬出コストの最小化を図る。

* 別紙イメージ図参照

- (3) 森林所有者の同意取得に向けた方針

地籍調査未実施箇所については、現況を確認のうえ境界を明確化し、土地所有者の同意を取得する。

また、公的造林地との隣接箇所等においては、過去の施業履歴や植栽範囲、地形等を総合的に勘案し、合成公図との照合および現地確認を行ったうえで、関係者の同意を取得する。

(4) その他

○鳥獣被害・森林病虫害対策

病虫害被害や気象害を未然に防ぎ、あるいは拡大を最小限に抑えるため、年1回の森林巡視を計画に位置づける。

また、万が一の気象災害や火災に備え、再造林地については森林保険への加入をセットで提案し、所有者の資産（次世代の森林）を守る体制の確保に努める。

○原木の安定供給

構想適合事業者は、地域の製材工場や合板工場、近隣県のバイオマス工場等へ計画的に原木供給することで、持続可能な森林経営により地域資源の継続的な循環利用を推進する。

○再造林の確実な実行

「伐採・造林一貫作業システム」を基本とした計画を策定する。

主伐後は、森林所有者や地域の要望、およびかほく地域協議会が作成した森林ゾーニングに基づき、人工林の経済林には小花粉スギならびに有用性の高い広葉樹を再造林する。

造林補助金や本市の助成金を最大限に活用するとともに、主伐時の販売収益の一部を充当することで、所有者の自己負担を最小限に抑える。

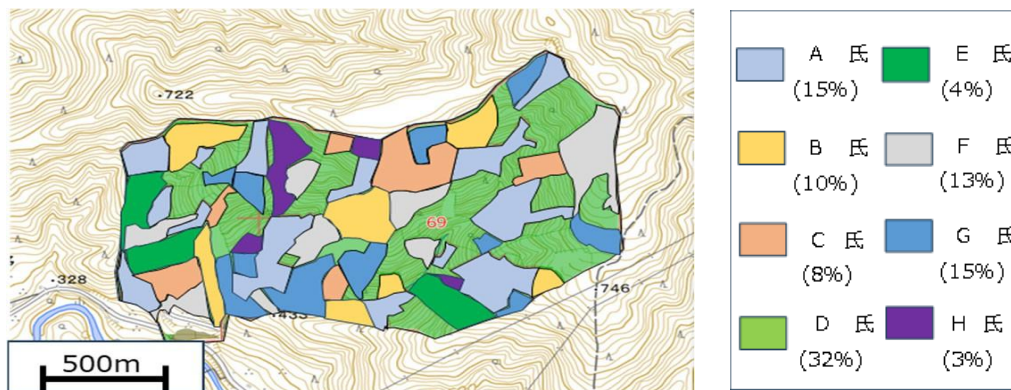
○還元額の算出方法

外縁部を確定させる「外縁部確定型」の手法を採用することで内部の複雑な境界管理を省略し、今回策定された森林資源データと合成公図による面積配分により、所有者への還元額を算出する。

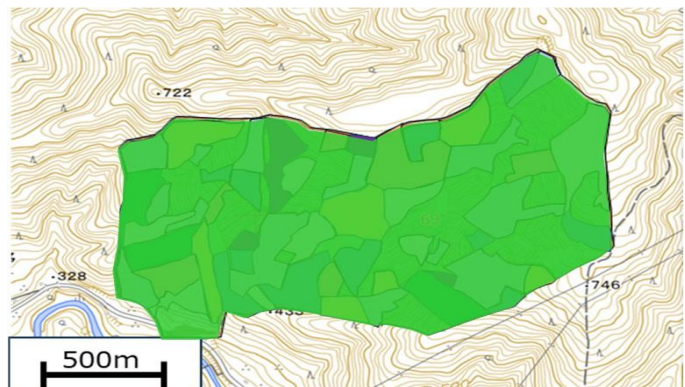
外縁部確定型のイメージ

■ 所有権界にとらわれない効率的な集積・集約化（イメージ）

- ・地域の森林所有者の合意に基づき、外縁の境界のみを明確化した上で、内部の境界明確化は省略する。
- ・既存の森林資源データや合成公図に基づく面積按分により林業収益を配分し、迅速な集積・集約化を実現する。



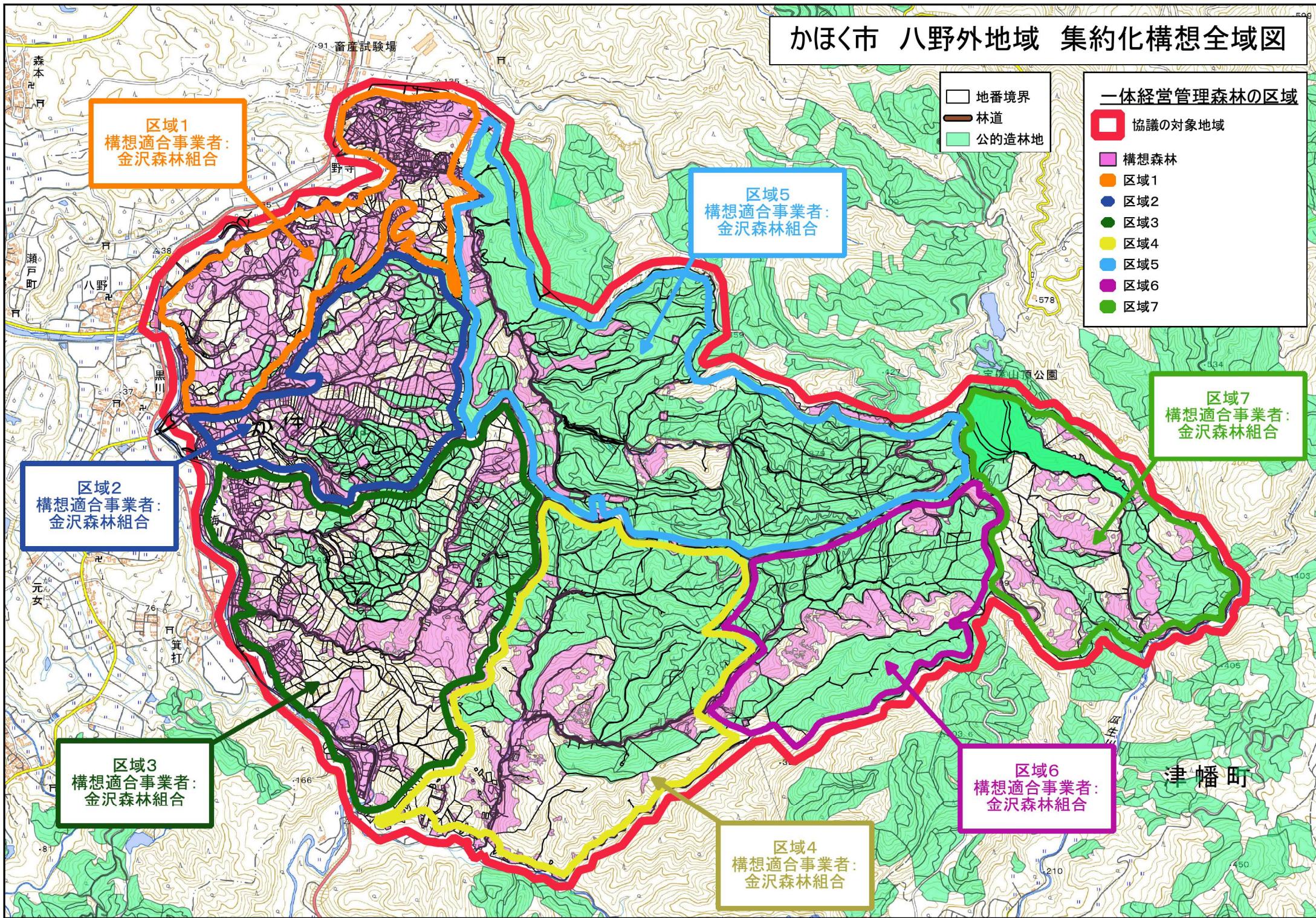
外縁の境界のみを明確化し、収益については森林所有者ごとに面積等で按分するなどにより経営管理を行う。



5 その他（任意記載）

当該地域において、現状施業が行われていないが、構想森林として位置づけないこととした森林についても、適切な経営管理の実現に向け、必要に応じ、経営管理権集積計画の作成、市町村経営管理事業の実施等を検討する。

かほく市 八野外地域 集約化構想全域図



別紙イメージ図

かほく市八野外地域：面的集約化に向けた森林路網整備計画

面的集約（施業団地化）の明示

民有林と隣接する公的森林を一体化し、境界を超えた効率的な搬出経路を確保します。

尾根筋に沿った堅牢な路線選定

微地形図から崩壊リスクを回避できる「尾根筋」を選定し、長期利用が可能な堅牢な道を配置します。

経済林ゾーンへのアクセス最適化

レーザ計測で測定された「ピンク色（経済林）」エリアを枝状の森林作業道で重点的に結びます。

既設路網の活用

既存の林道・林業専用道を「基幹路網」として太線で表示し、地域の骨格として定義します。

民有林

公的造林地

団地化によるコスト最少化

対象エリアを一つの「面的まとまり」と捉えることで、移動時間の短縮と搬出コストの削減を図ります。

かほく市

八野外地域整備対象エリア全体像

全体対象面積：約848ha（7つの区域に区分）

重点整備ゾーン：経済林（ピンク色表示エリア）

連携主体：民有林所有者、公的造林地（県・市・公社等）